

審議会等の会議録

会議の名称	令和6年度第1回大牟田市子ども・子育て会議
開催日時	令和6年8月20日(火) 18時00分～20時00分
開催場所	市役所 北別館4階 第1会議室
出席委員	<p>【19名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮田 忠雄 (元大牟田市教育委員会教育長) 【会長】 ・辻 裕子 (大牟田医師会) 【副会長】 ・坂口 明夫 (甘木山学園) ・猿渡 保生 (大牟田市保育所連絡協議会) ・奥藪 睦子 (大牟田市民生委員・児童委員協議会) ・内田 勉 (大牟田市社会福祉協議会) ・福島 昭二 (大牟田市学童保育所・学童クラブ連絡協議会) ・北野 真由美 (福岡県障がい児等療育支援施設(りんどう学園)) ・古賀 初 (大牟田市小学校長会) ・坂口 志津香 (大牟田市立小・中・特別支援学校 PTA 連合会) ・安元 大介 (大牟田地区私立幼稚園協会) ・齊木 聖子 (大牟田市子どもの居場所等連絡協議会) ・吉川 哲平 (大牟田商工会議所青年部) ・坂上 沙織 (大牟田青年会議所) ・野口 理穂 (帝京大学学友会) ・田中 凜太郎 (有明工業高等専門学校 学生) ・阿野 奈々美 (市民委員) ・一木 香織 (市民委員) ・尾下 愛美 (市民委員)
欠席委員	<p>【1名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高口 恵美 (スクールソーシャルワーカー)
事務局	<p>保健福祉部子ども未来室 原室長</p> <p>保健福祉部子ども未来室</p> <p>子ども育成課 橋本(浩)課長、菊竹主査、永井主査、 豆塚主査、前原主査、前田主査</p> <p>子ども家庭課 橋本(強)課長、鶴田副課長、池田主査、板谷主査</p>
公開・非公開	公開
傍聴者数	0名

会議次第	1 委嘱状交付式 2 会長及び副会長選出 3 大牟田市子ども・子育て会議について（資料 1） 4 大牟田市の子育て支援について（資料 2） 5 第二期大牟田市子ども・子育て支援事業計画について（資料 3） 6 大牟田市こども計画策定に係る市民アンケートについて（資料 4） 7 その他
------	--

《会議の経過》

1 委嘱状交付等

出席委員に委嘱状を交付し、副市長から挨拶を行った。

2 会長及び副会長選出

大牟田市子ども・子育て会議条例第 4 条の規定に基づき、委員の互選により、宮田委員を会長に、辻委員を副会長に決定した。

大牟田市子ども・子育て会議条例第 5 条の規定に基づき、宮田会長が会議の議長を務め、次第 3 以降の議事進行を行った。

3 大牟田市子ども・子育て会議について

資料 1、資料 1（別添）、資料 1（参考資料）に基づき事務局から説明。
（質疑応答なし）

4 大牟田市の子育て支援について

資料 2 に基づき事務局から説明。

5 第二期大牟田市子ども・子育て支援事業計画について

資料 3 に基づき事務局から説明。

（委員）

資料 3 の P. 24 「子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター）」は今後の方向性がいずれにもチェックされていないがなぜか。

（事務局）

「子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター）」は P. 36 にも同事業を掲載しており、実施状況や今後の方向性等は P. 36 に記載している。

（委員）

子どもを産み育てる上での支援などを掲載している計画ということなので、本市にお

ける出生数はどのように推移しているか教えてほしい。他の委員もおそらく大牟田市1年間にどれだけ子どもが生まれているか知らないと思う。

(事務局)

令和3年635人、令和4年568人、令和5年528人となっている。

(委員)

出生数が減少傾向になっている。この傾向を食い止めようと、出生数を増やしていこうと考えているということか。

(事務局)

何とか減少を食い止めたいと考えている。出生数を増加に転換することが大事だが、現実問題として、まずは減少幅を低減するという考えになると思っている。

(委員)

以前は「1000人を割ったら大変、800人を割ったら大変」と言っていたが、今は500人を割ろうとしている状況。市においても、もう少し少子化対策に力を入れ、今年度に策定することも計画の中に盛り込むように考えていくべきでないかと考える。

(事務局)

少子化対策をどうしていくかはなかなか難しい部分もある。国全体として減っている中で、特効薬的な取組があるかというのは研究等も必要と思う。

本市としては、少子化対策として結婚の支援等に取り組んでいる。結婚を望んでいる人が結婚しやすいように応援するという考え方で取り組んでいるところ。また、経済的負担の軽減や保育環境の整備など、子育て支援策を充実していくことで、大牟田市に住んでいる子育て世帯が、より子育てしやすい、住みやすいようにしていくべきと考えている。

(委員)

医療費の助成について、みやま市や荒尾市が先行していた中、大牟田市が来年1月から助成の拡充を行うことを大変嬉しく思う。以前、医療費拡充について尋ねた際、予算の確保が難しいという回答を何度かもらったが、今回拡充した分の財源はどうなのか。また、将来的に継続していくのか、それとも元に戻るのかをお尋ねしたい。

(事務局)

現状の医療費については、小学生までが自己負担2割、小学校以上が3割負担であり、残りの7~8割は保険で支払われている。子ども医療費助成制度における費用負担割合は、先ほど述べた2割もしくは3割の額と自己負担の上限額(3歳~就学前なら通院800円/月など)との差を県と市で半分ずつ負担している。

来年1月からは、上限額を3歳~就学前は無料にする等の拡充を行う。この拡充分は市が全額負担し、それにより市の負担は約4,500万円増えると試算している。

市民生活に直接関わることであり、制度として設計し拡充した以上は、継続していかなければならないと思っている。

(委員)

情報発信について、公式LINEで行っているとのことだが、LINEは市公式アカウントを登録しないと情報を受け取ることができないので、まずは市民に登録してもらうこと

が必要になる。別のツールとしてインスタグラムやX（市のアカウントを登録やフォローしなくても、関心が高い情報として表示される）などの活用は検討しているか。

（事務局）

大牟田市こども計画策定に係るアンケート調査においても子育てに関する情報をSNSで入手している方が多いことが把握できた。

今の子育て世代はインスタグラムを利用している方が多いと考えており、来年度以降、インスタグラムを活用した情報発信を検討している。

市が実施している子育て支援策だけではなく、子育て世代にとって有益な情報を市民の皆様から寄せていただいたり、子育て支援の活動をしている団体の皆様などにご協力いただいたりしながら、より効果的効率的に情報発信していけないか考えていきたい

（会長）

事業などを利用する側からの意見が出されているが、事業者側からの意見はいかがか。いろんな事業を実施する上での意見や感想など。

（委員）

運営している認定こども園で夏休みの預かり事業を実施している。実施事業者は昨年から1園増え、今年度は3園で実施している。学童の待機児童対策という意味合いがあると思うが、利用者募集の時期が1月と早いこともあり、実際に夏休みが近づいてきてからの問合せもあった。改善する余地がある旨は市の担当とも協議しているが、ニーズがあるのは間違いないと思っている。

実施上の一番の課題は人材確保。夏休み期間の1か月だけ働いてくれる人はあまりいない。卒園児のお母さんなど、現役のお母さんで空き時間に週に1,2回なら出来るという方が少しいて、メインの職員のサポートとして入ってもらうことでどうにか確保できた。そうした短期で働く方の時給をどう設定するかということも課題。

（会長）

人材の確保は今、どこの職場も大きな課題になっていると思う。市が保育士と採用を希望する園をマッチングする人材バンクの取組を行っているが、今回のような人材のマッチングは難しいのか。

（事務局）

人材バンクについては、有資格の方は、登録があるとすぐに園の方の引き合いがあり、マッチングが成立する。無資格の方は、なかなかマッチングしないという課題もあるが、短期間でもいいということであれば、夏休みの預かり事業でマッチングできる可能性はあると思う。

一方、夏休みの短期間だけ働きたいという人の確保については、例えば、学生アルバイトなども検討していく必要があると考えている。高校生や大学生が夏休みに、寺子屋みたいな形で勉強を教えている取組が行われているように、一緒に遊ぶとか、勉強を少し教えるといった形で、学生の活用もあり得るのでないかと思っている。

いずれにしても、先ほどお話しされたように、夏休みに預けたいというニーズは、思っていた以上にあったと感じており、今後、継続していく上で、人材の課題は大きいものだと思っている。実際に事業を行っていただいている事業者と一緒に検討していきたい

い。

(委員)

前の議題で説明された資料2の少子化対策担当について、結婚や婚活に係るセミナーの実施とあるが、どのように周知しているのかを聞きたい。

(事務局)

民間事業者が婚活イベントを実施しており、今年度も5回の開催を予定している。セミナーは、そのイベントに合わせて、1週間前や当日イベントに臨む前などに、身なりや異性と会話するための方法についての内容を実施している。

この周知については、市公式LINEでの配信や、イベントを実施する民間事業者が準備するポスター等を、公共施設やゆめタウン大牟田とイオンモール大牟田に設けていただいている大牟田市の掲示コーナーなどに掲示している。あわせて、大牟田市と協定を結んでいる企業に対し、従業員に対する周知にご協力いただくように案内している。

6 大牟田市こども計画策定に係る市民アンケートについて

資料4に基づき事務局から説明。

(委員)

アンケートの集計はいつになるのか。

(事務局)

7月いっぱいまで調査を行い、現在集計を行っているところ。集計の報告書が9月末までに完成予定。次の子ども・子育て会議でその結果を報告するとともに、大牟田市こども計画をどういった形で策定していくかという方向性などについて説明したいと考えている。

7 その他

子育て情報誌『おおむたっ子』、次回開催日程について事務局から説明。

閉会 (20時00分)